



時を経ても、続く価値を。
SEKISUI HEIM
 Unit Technology for the Future

レジリエンス 減災モニター募集

レジリエンス仕様設備を搭載した全商品を **特別価格** でご提供!

2025年10月31日(金)まで

東北エリア 先着35棟

宮城エリア 10棟

福島エリア 10棟

北東北エリア 10棟

山形エリア 5棟

レジリエンスの住まいで叶える
心地よく、安心な新しい暮らし。

太陽光発電システム

屋根一面に搭載したソーラーで
自宅につかう電気をつくる



ソーラー
容量

一般住宅※1の約2倍※2



e-Pocket GREEN(蓄電池システム)

創った電気を貯めることで、
夜間や停電時にも電気を活用



蓄電容量
9.9/13.2kWh ※4

一般住宅の約2倍 ※3



スマートハイムナビ(HEMS)

蓄電池やエコキュートを
かしこくコントロール



光熱費削減

発電した電力を
湯沸かしに活用

災害時安心

気象警報と連動し
蓄電池を自動で充電※5

※1 総務省統計局 住宅・土地統計調査(令和元年)一戸建ての延床面積 2018年:126.63㎡ ※2 ソーラー容量について:資源エネルギー庁 再生可能エネルギー設備導入状況(2021年3月末時点)住宅用PVの新規認定容量と件数から算出。新規認定分767.5kW/1,619,792件⇒4.74kW/邸 ※3 事前に設定が必要です。停電が早期発生した場合等により、満タンまで充電されない場合があります。余剰電力がある場合は余剰電力を活用し、充電します。余剰電力がない場合は電力会社から購入した電力を充電します。 ※4 容量はカタログ値であり、実際に使用できる容量とは異なります。 ※5 事前に設定が必要です。停電が早期発生した場合等により、満タンまで充電されない場合があります。余剰電力がある場合は余剰電力を活用し、充電します。余剰電力がない場合は電力会社から購入した電力を充電します。

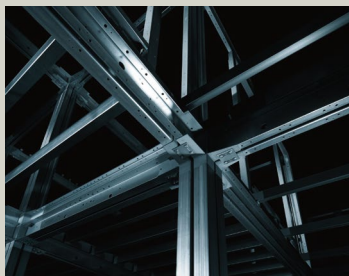
お申込み
資格・条件

●東北6県で土地をお持ちの方(購入予定の方)、また、当社が指定する着工日までに建築競工が可能な方が対象となります。●お申込み後、ご建築予定地の現地調査をさせていただきます。ご建築予定地によってはお申込みをお断りする場合があります。●建築途中または入居後、実邸見学会・広告物に使用する写真撮影などにご協力いただきます。【募集について】今回募集するレジリエンス減災モニターは、東北エリアで先着35棟です。ご成約棟数に達し次第、受付を終了させていただきます。※他のキャンペーンとの併用は出来ません。詳しくは営業担当にお尋ねください。

災害から家族を守るセキスイハイムのレジリエンス住宅で 普段の暮らしも、万が一の時もずっと安心が続く。

地震から生命を守る

標準仕様でトップランク※の耐震性能を満たしています。ユニットで構成されたボックスラーメン構造が、大切な家族と財産を守るので、度重なる余震にも慌てずに過ごせます。



※品確法(住宅の品質確保の促進等に関する法律)の耐震・耐風項目の最高等級。一部特殊プランにおいては対象外となります。



2つの力で家族を強固に守り、住まい全体で力を受け流す

複合型・地震吸収システム



粘り(しなやかさ) + 強度(堅さ)
ユニット構造体 高性能外壁

停電時も電気が使える

太陽光発電システムでつくった電力を蓄電池へ充電しておくことで、停電時も電力の復旧が可能※。生活に不可欠な照明、冷蔵庫の他、テレビや携帯電話の充電など、情報収集の電力も確保できます。



※蓄電池の残量がないと復旧しません。また、事前に計画したスイッチ、コンセントでのみ電力使用が可能です。同時に使用できる電力には限りがあります。

「蓄電池」が叶えるエネルギー自給自足の暮らし

昼も夜も自宅で発電し、貯めた電力で暮らすエネルギー自給自足型の暮らし。
「電気を貯める」ことによって住まいの電力マネジメントは劇的に広がります。

普段の生活で…

昼も夜も、
できるだけ買う電力に
頼らない暮らし

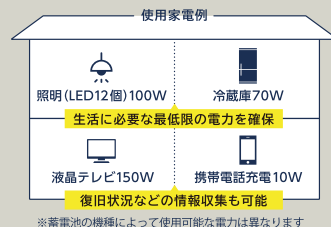
昼間は発電した電力を使用。夜間は貯めた電力で生活し、足りない分だけ電力会社から買うスタイル。



もしもの災害時も…

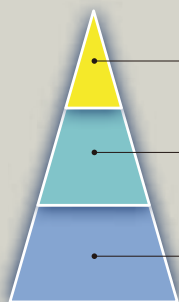
停電時にも
電気が使え、
自宅が避難所に

停電時には、直後に蓄電池が自動で住宅の電力を復旧。家族の安心を確保します。



地震災害に高いレベルの安心を

地震災害に強い家 3つのレベル



- レベル③ 災害後の生活にも強い家
= エネルギー自給自足の生活
- レベル② 耐震性能の維持できる家
= 何十年経っても強い
(何度も地震を経験しても)
- レベル① 地震・災害に強い家
= 地震に強い設計+確実な施工

地震災害に最も強い家とは、災害後の暮らしまで見据えた住まいです。
エネルギー自給自足の家は、災害後も暮らしの電力を確保することができます。※
※天候などの条件によっては十分に電力を使用できない場合があります。

- レベル③の家
自宅が避難所に
照明やテレビが使え、温かい食事もある
- レベル①、②の家
避難所生活が必要
家は無事でも、電気がないと生活できない